

様式第2号（第5条関係）

令和4年9月20日

出 張 報 告 書

栗山町議会議長 鵜川和彦 様

栗山町議会議員 齊藤義



このたび、下記のとおり受講いたしましたので報告します。

記

- 1 研修日 令和4年8月26日（金）～令和4年8月27日（土）
- 2 旅行先 東京都千代田区 農林水産省農産局
- 3 目的 農林水産省へ調査研究
 1. 水田利活用の展望、水田地帯の農村振興
 2. 穀類の低コスト化
 3. 肥料高騰対策
- 4 関係書類 別紙のとおり



農林水產省 農業研究班

農業研究班
課長補佐 河野 研

MAFF 〒100-8950 代表 03-3502-8647
直通 03-3647-2103 E-mail ken-nono2003@mail.jp

MAFF



農林水產省 農業研究班



農村政策課
佐藤 一 榮

MAFF 〒100-8950 代表 03-3502-8647
直通 03-3647-2103 E-mail ken-nono2003@mail.jp

係長 須田 信吾

〒100-8950 代表 03-3502-8647
直通 03-3647-2103 FAX
03-3502-8639

佐藤 滉正



農業研究班 農業研究室
室長等 水質試験 官公報刊編集室

水利研究室

〒100-8950 代表 03-3502-8647
直通 03-3647-2103 E-mail ken-nono2003@mail.jp

佐藤 敏光

農業研究班 農業研究室
室長等 水質試験 官公報刊編集室

水利研究室

〒100-8950 代表 03-3502-8647
直通 03-3647-2103 E-mail ken-nono2003@mail.jp

農林水產省 農業研究班

企画課 金澤

三野 敏光

佐藤 敏光

〒100-8950 代表 03-3502-8647
直通 03-3647-2103 E-mail ken-nono2003@mail.jp

〒100-8950 代表 03-3502-8647
直通 03-3647-2103 E-mail ken-nono2003@mail.jp

日 時	令和4年8月26日
視 察 先	東京都千代田区 農林水産省農産局
調査事項	<p>農林水産省へ調査研究</p> <p>1.水田利活用の展望、水田地帯の農村振興 2.穀類の低コスト化 3.肥料高騰対策</p>
対 応 者	<p>農林水産省農産局</p> <p>農村政策部長 佐藤一絵 氏 整備部水資源課広域水利第1班 水利第3係長 佐藤正一氏 穀物課稻生産第2係長 須田信吾 氏 穀物課稻生産班 課長補佐 河野 研 氏 企画課長 三野 敏克 氏</p>
1. 視察目的	8月26日午後より農水省において5名の方から、政策の説明を頂いたあと、農業政策及び情勢の懇談を行った。
2. 視察内容	佐藤部長、佐藤担当2名から政策全般の説明を頂き、農山漁村振興交付金フル活用のススメの資料から、抜粋した栗山町に関する政策の詳細説明を受けた。
① 背 景	農泊、農福対策は、若者定住や福祉の政策を重点的に進める栗山町にも特に参考となる政策であると感じた。
② 特 徴	説明と懇談時間をおよそ1時間頂いた。
3. 主な質疑	
4. 考 察 (感想、政策提言、課題など)	<p>14:30からは、農産局穀物課から須田、河野担当2名から、米政策の推進状況の説明を頂き、稲作農業の体质強化に向けた超低コスト産地育成事業について、詳細の政策概要を資料から説明頂いた。</p> <p>水稻直播栽培、ICT活用を含むソフト事業であり、栗山町でも検討すべきである。現在は同様の事業が近隣岩見沢市で進められているので、次期採択を栗山町が準備すべきと感じた。</p> <p>16:00からは三野課長より、水田利活用の制度改正について、その要点と地元の心構えについて、懇談を行った。</p> <p>課長から、制度変更がしばらくぶりとなるので、混乱しているようであるが、今後の水田農業のための、追加の政策もあるので、説明を推進に役立ててほしいとのことであった。</p>

また、肥料の高騰対策についても、口頭で説明を受けたが、
フレームができ次第資料を送くるとのことで、懇談を終えた。
およそ1時間強、丁寧に説明と意見交換ができた。